

効果検証の実施方法について

本効果検証は、現状のインターネットオークションにどの程度の侵害品・侵害行為が存在しているのかを数値的に計測することにより、一昨年来の一連の侵害防止対策がどの程度効果的であったか検証するために実施する。

記

実施日	平成19年11月15日から12月10日までの間で任意の数日 時間帯・曜日等は問わない
対象オークション	ビッダーズオークション ヤフーオークション 楽天オークション モバオク
検証対象物品等	実施する団体・企業の任意で選択のこと、但し、検査対象の全部のオークションで同じ検証対象物品等とすると同時に、今後も同様の検証を行う必要があることから汎用的且つ長期的に定点検証可能となる対象を選択する。
方式	検証母数を、侵害品・侵害行為に関わる出品数で割ることによって算出する 例：100点出品されていた中で10点が侵害品である場合は、10%の侵害率
判断基準	画面上の文章・画像から著作権・商標権を侵害すると判断できるものであり、オークション事業者に出品停止要請可能なものを侵害品・侵害行為に関わる出品としてカウントする 備考：不正競争防止法に抵触する可能性のある出品は、同法の性格上断定的に判断できないためカウントしない 但し、著作権・商標権に関わる侵害品と明白に判断できないが侵害品である蓋然性が高いと思われる出品を上記のデータとは別にカウントする。

記録方法 検証の記録は任意とする。
備考：検証を実施したという証明物は実施者の手元に残すようにする。

報告方法 別添のエクセルシートに記入し、分科会主査へ提出のこと

以 上